

事業報告書

1. 短期計画

(1) 教育活動の改善

①教育環境整備

i ICT（情報通信技術）教育の構築

- ・授業支援 web システムの構築・導入及び支援
- ・Office クラウドサービスの構築・導入及び支援
- ・電子教科書など端末機器の導入及び支援
- ・授業目的公衆送信補償金制度（著作物の教育利用に関する制度）への対応
- ・オンライン授業の学修支援
- ・多機能型プロジェクターへの更新

→ 神奈川校及び浦添看護学校での授業支援 web システムの構築・導入及び支援はできたが、沖縄アカデミー専門学校は一部のみで次年度継続。浦添看護学校では電子教科書利用が1・2年生導入、神奈川校ではICT教育を行う環境は整い全学で利用開始が行えたが、教育実施内容については次年度継続。

授業目的公衆送信補償金制度には、全学校登録実施。オンライン授業については、必要に応じて実施できている。

ii 教育機器備品の適切な更新

- ・教育機器備品について計画的な更新
- 順次計画的更新を実施したが次年度継続。

②教育の質保証と向上

i 学校評価（自己評価）の精度向上

→ 基準表(エビデンス等)に基づき学校自己評価の実施ができたが次年度継続。

ii 専門学校の質保証と向上に伴う内部監査を実施

→ 内部監査を実施したが次年度継続。

③キャリア教育の推進

i キャリア・サポーター教職員を中心に入学から卒業までのキャリア教育の推進

→ キャリア教育について定着しつつあるが、実施内容等も含めて検討が必要なので次年度継続。

④教育活動のサポートの推進

i 高等教育の負担軽減（給付型奨学金）承認の継続申請

→ 高等教育の負担軽減（給付型奨学金）の承認申請は全校行えたが、毎年度申請となるため今後も継続していく。

(2) 財務体質の改善

①経営基盤強化

i 神奈川新規学科（動物看護学科（仮））開設準備

→ 専修学校課程設置計画申請の承認を受ける。(3/29：文部科学省)
愛玩動物看護学科設置申請を提出する。(3/17：環境・農水省)

ii 沖縄アカデミー専門学校日本語教育事業の運営安定化

→ 留学生へ広報活動、留学斡旋業者対応、支弁施設の開拓を実施したがコロナの影響もあり学生が思うように集められず次年度継続。

iii 浦添看護学校の運営安定化

→ 施設環境整備に重点を置いて実施したが次年度継続。

②収入増

i 学生数確保

- ・ 沖縄アカデミー専門学校日本語学科の外国人留学生入学者促進に向けた広報活動
- ・ 沖縄アカデミー専門学校の学生寮稼働率向上の再構築
- ・ 利用可能な公的訓練業務の受託
- ・ 高等学校内進路ガイダンス、体験学習へ積極的参加

→ コロナの影響で沖縄アカデミー専門学校の留学生入学者の促進は思うように進まず、学生寮稼働率向上も図れなかった。介護福祉学科で公的訓練業務の受託。高等学校内進路ガイダンスへの参加要請があった場合は、積極的に可能な限り参加した。

ii 中途退学者の抑制

- ・ 入学前教育による基礎学力不足者の特定とサポートの強化
- ・ 家計困窮者に対して可能な限りの学費対応
- ・ スクールカウンセラー有効的な活用

→ 入学生に添削問題を出題。(神奈川)入学前学修として協同学習をサポート(浦看)家計困窮者に対して可能な限りの学費延納、分割納付、奨学金対応を図るが今後も継続していく。精神的に病んでいる学生に対して学生と面談の上、カウンセリングを受けるよう案内した。

iii 国家試験及び認定試験合格率向上

- ・ 合格率向上のための教員への事務的サポート

→ 合格率向上のための教員への事務的サポートを実施する。書類作成、事務手続き等のサポート実施。

iv 就職率の向上

- ・ キャリア支援等による学生の就職意識向上に向けた支援

→ キャリア支援、セミナー開催、就職説明会等による学生の就職意識向上を図る。

③支出の抑制

i 事業計画に基づく予算作成

→ 2021年度事業計画に基づく2021年度予算作成を実施。

ii 予算に基づいた経費支出対応

→ 予算に基づいた経費支出対応の励行実施。

iii 半期の各部門予算運用の検証

→ 半期での予算運用確認を実施し、各部門が適正に運用されているかを検証した。

(3)組織の改善

①教職員のスキルアップ

i 計画的な教員研修会、学会への参加促進

→ コロナ過の為、年度計画予定の研修会、学会が一部開催されなかったがWEB開催などは積極的に参加した。

ii 事務職員の必要知識習得のための研修会への参加

→ コロナ禍ではあったが、必要となる研修会には可能な限り参加した。また、今後必要となる資格の取得推進を行った。

②業務分担の適正化

i 効果的な非常勤講師の人員配置

→ 可能な非常勤講師の配置を実施する。

ii 代休、有休消化の促進

→ 2021年度は全教職員が5日間以上の有給休暇を取得した。

(4)その他

①学園規程の見直し

i 学園規程の順次見直しの実施

→ 給与規程、給与規程別表、退職金規程、育児・介護休業規程改定を行った。

②就業規則改定

i 定年退職年齢改定に伴う関連条項改定の実施

→ 定年退職年齢改定に伴う関連条項改定の実施をした。また、法改正で不備があった内容について改定を実施した。

2. 中期計画

・神奈川校の改修整備に関する対応を行う。

→ 新館竣工（2020年8月末）、新学科開設のための教室等準備

・浦添看護学校の運営安定化への対応を行う。

→ 施設環境整備の継続

・沖縄アカデミー専門学校での定員確保への対応を行う。

→ 日本語学校開設、学生寮竣工（2020年4月）、
介護学科への留学生動員を増やす

・ICT（情報通信技術）教育の構築と推進を行う。

→ WIFI環境整備事業実施とクラウド利用開始、端末機器整備

・質保証と向上への取組を行う。

→ 学校評価判断基準の明確化と学校自己評価、
学校自己評価内部監査実施（神奈川校）

・湘中央生命科学技術専門学校に新学科を設置する。

→ 文部科学省関連：専修学校課程設置計画申請の承認を受ける
環境・農水省関連：愛玩動物看護学科設置申請を提出する。

・沖縄アカデミー専門学校日本語教育機関の運営安定化への対応を行う。

→ 留学生へ広報活動、留学斡旋業者対応、支弁施設の開拓

3. 長期計画

湘中央学園が教育活動の改善、財務体質の改善、組織構造の改善に継続的に取り組み、地道でも安定した教育環境の提供すること。また、教育規模（学校数、学科数、学生数）の拡大と拡充を図り、社会に貢献できる学園を目指す。

→ 短期及び中期計画への落とし込みを行い、継続的に対応を行った。